



CDM_extension インストール（設置）マニュアル
&
CDM_extension 操作マニュアル

第4版

株式会社ソフトテックス

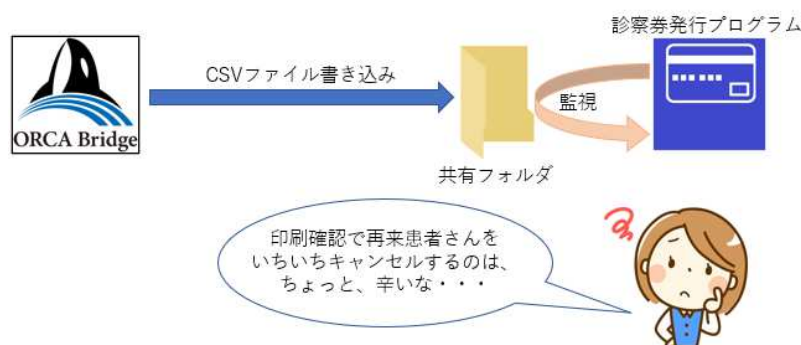
はじめに

I. 前提

1. ORCA Bridge のインストールが済み、アクティベーションが完了している事。
2. Windows10 での動作確認済み。他環境での動作保証はしません。

II. CDM_extension について

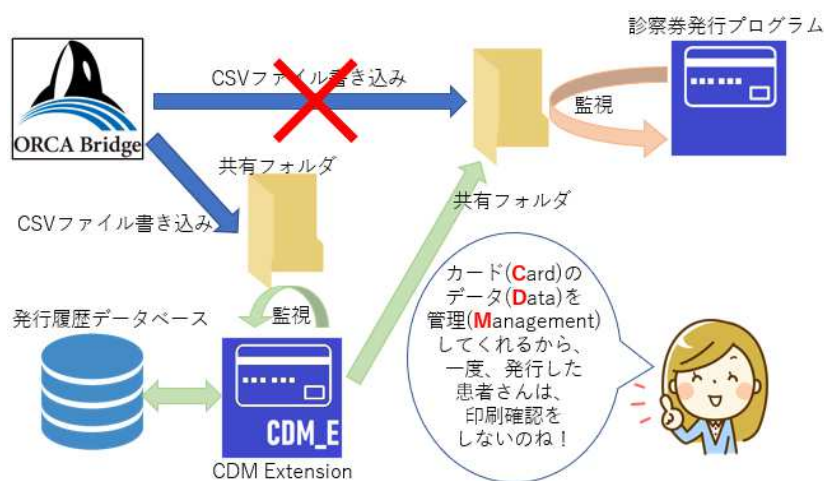
1. ORCA Bridge は Pusher-proxy サーバからの通知で csv ファイルの書き出しを行います。csv ファイルを直接 ORCACARDIssue 等の一部の診察券発行プログラムに読み込めると、無条件に全てのデータを印字する動作となったり、あるいは、Print-AR 等の、ある種のプログラムでは、毎回、印刷確認を行なう必要が発生します。



これは、Pusher-proxy サーバの動作が、オンプレ環境で利用する USER プログラムと異なり、通知の動作を利用者が制御できないという“仕様”によります。

CDM_extension は、ORCA Bridge と診察券発行プログラムの間に入り、ORCA ブリッジが書き出す csv ファイルを管理することで、印刷の確認回数を軽減し、かつ、一度印刷したデータを履歴管理する事により、再来時の保険証確認等での不必要な印刷確認を行わなくするものです。

また、氏名変更、診察券破損等で再発行が必要な場合の為に「再発行処理」や、既に診察券が大量に発行済みの環境において、過去の発行履歴を一括作成する「発行履歴一括作成処理」を提供します。



2. インストールする PC の選定については、以下の内容で考えます。

ORCA Bridge、ORCACARDIssue、CDM_extension が同一の PC に存在する環境を強く推奨します。
ネットワークドライブ越しでも理論上は動作しますが、障害時の原因切り分けが困難となる可能性が高いと推定されます。

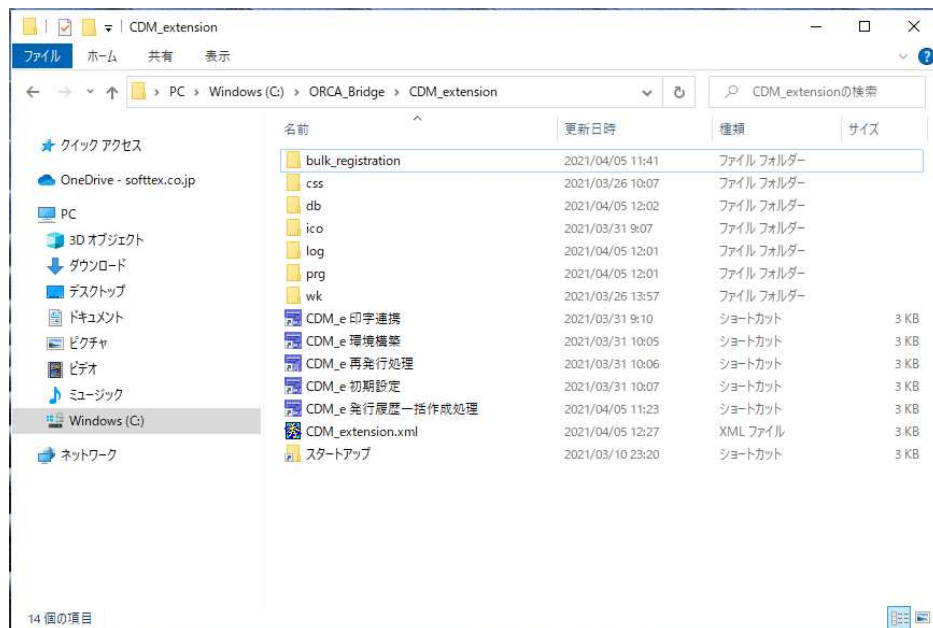
次善の策としては、ORCA Bridge、CDM_extension を同一 PC 上で動作させ、ORCACARDIssue¥をパスワード無しで「共有」させ、他 PC にインストールした ORCACARDIssue からアクセスさせる方法を推奨します。

※ORCA Bridge の書き込み動作にリトライは無い（失敗しても Push 通知を再発行してもらえない）ため、ネットワーク障害等で書き込みできなかった場合は、印字するデータ自体が失われてしまいます。
対して、ネットワーク越しに読み込む場合は、ネットワーク障害が復旧した時点で、データを読み込めるので安全性が高いと考えられます。

【重要：インストール PC の決定方法の考え方】

- a)ORCA Bridge は ORCA 入力作業中に必ず起動している PC にインストールしなければなりません。
また、ORCA Bridge は起動時にアクティベーションを確認する為、インターネットに出られる環境が必要となります。
- b)上記 a)より、ORCA Bridge のインストール PC を確定します。
- c)CDM_extension は、カードの印刷可否を制御するものであるから、診察券発行機の近くで「診察券発行機で印刷された診察券を患者様に渡す担当者」の PC が、インストール先として望ましいと考えられます。
- d)上記条件を考慮し、同一 PC 上にインストールするか、別 PC にインストールするかを決定します。

2. 動作に必要なフォルダ構造は以下の通りです。



bulk_registration(*)	: 発行履歴一括作成処理のインプットデータ用フォルダ
css、ico	: システム使用
log(*)	: log ファイル置き場
db(*)	: 印刷履歴 DB 保管場所
prg	: 各プログラムファイル置き場
wk(*)	: 処理用作業フォルダー
(*)のフォルダは、初期設定を行う事で自動生成されます。	

3. 動作

ORCA Bridge により wk¥CSV_tmp¥に csv ファイルが書き出されると、診察券を印刷するか否かの確認のため、画面にダイアログボックスを表示します。

「はい」が押された場合：CSV_tmp の csv ファイルを、診察券発行プログラムが監視するフォルダーに移動します。

同時に、発行履歴データベースに発行履歴を書き込みます。

「いいえ」が押された場合：wk¥CSV_tmp の csv ファイルを削除します。

移動や削除の内容は、log に yyyyymmdd.log ファイルが作られ、その内容は、hh:mm:ss.99 Write(or Cancel) 患者番号 漢字氏名となります。

Ⅲ. インストール作業

【注意】 Admin 権限を持ち、かつ、日医標準レセプトソフト利用時にログインするユーザーで作業する事。

※ユーザーが複数ある場合は要注意。

インストール作業は、

①ORCA Bridge と CDM_extension を同一 PC にインストールする場合

②ORCA Bridge と CDM_extension を別 PC にインストールする場合

③「Ⅳ.初期設定」作業と、ORCA Bridge がインストールされた PC での作業として「ORCA Bridge 設定作業」の3手順が有り、インストールする環境に合わせ、①と③、または、②と③の作業を行います。

※③を忘れないように行う事。

■①ORCA Bridge と CDM_extension を同一 PC にインストールする場合

1. 本 zip ファイル内のフォルダ"CDM_extension"を C:\ORCA_Bridge にコピーします。

2. C:\ORCA_Bridge\CDM_extension に移動します。

3. ショートカット"スタートアップ"を右クリックして、プロパティより、「ファイルの場所を開く」をクリックします。

別 Window で"プログラム"フォルダが開きますので、その中の"スタートアップ"フォルダに移動します。

4. C:\ORCA_Bridge\CDM_extension 内のショートカット" CDM_e 印字連携"を、上記3. で開いた"スタートアップ"フォルダにコピーします。

また、ショートカット" CDM_e 印字連携"、" CDM_e 再発行処理"をデスクトップにコピーします。

■②ORCA Bridge と CDM_extension を別 PC にインストールする場合

●ORCA Bridge がインストールされた PC での作業

1. ORCA Bridge のインストールされた PC の、C:¥ORCA_Bridge に、
本 zip ファイル内のフォルダ"CDM_extension"をコピーします。
2. C:¥ORCA_Bridge¥CDM_extension¥wk¥CSV_tmp をパスワード無しで共有フォルダーとします。
【重要】 必ず、他 PC でコマンドプロンプト (DOS) を開き、
 > dir ¥¥(ORCA Bridge のインストールされた PC の IP アドレス)¥CSV_tmp
などのコマンドを発行しフォルダ内容が読める (表示される) ことを確認する事。
出来ていなければ、本プログラムは動作しません。

●CDM_extension をインストールする PC での作業

1. C:¥に、フォルダ"ORCA_Bridge"を作成します。
2. 本 zip ファイル内のフォルダ"CDM_extension"を C:¥ORCA_Bridge にコピーします。
2. C:¥ORCA_Bridge¥CDM_extension に移動します。
4. ショートカット"スタートアップ"を右クリックして、プロパティより、「ファイルの場所を開く」をクリックする。
別 Window で"プログラム"フォルダが開くので、その中の"スタートアップ"フォルダに移動する (開く)。
6. C:¥ORCA_Bridge¥CDM_extension 内のショートカット " CDM_e 印字連携"を、上記 4. で開いた"スタートアップ"フォルダにコピーする。
また、ショートカット" CDM_e 印字連携"、" CDM_e 再発行処理"をデスクトップにコピーする。

IV.初期設定

※ORCA Bridge、および、診察券発行プログラムの設定が終了していること。

1. C:\¥ORCA_Bridge¥CDM_extension に移動。
2. ショートカット"CDM_e 初期設定"を、ダブルクリックで起動。
3. 下のような画面が表示されることを確認。

CDM_e 初期設定

CDM (Card Data Management) Extension 初期設定

*例に従って、患者番号と患者氏名のカラム位置を入力してください。
Ex.) CSV : 000001,ニチイ タロウ,日医 太郎,1961/01/01,1
カラム位置: 0 1 2 3 4
カラム位置は"0"から始まることに注意してください。

患者番号カラム位置 :
患者氏名カラム位置 :

*新患の診察券発行は、自動発行にしますか、確認発行にしますか？
☒ はい 自動発行します ☐ いいえ 確認発行します

*診察券発行プログラムにCSVを渡すとき、患者番号の先頭の0を削除（ゼロサプレス）しますか？
☐ はい ☒ いいえ

*ORCAブリッジがCSVを出力するフォルダを入力してください。
通常に変更する必要はありません。変更した場合、ORCAブリッジの設定も変更してください。

印刷データ入力フォルダ :

*診察券発行プログラムが監視しているフォルダを入力してください。

印刷データ出力フォルダ :

【注意】入力ミスを防ぐため、Explorerや、診察券発行プログラムの設定画面からフォルダ名をコピーしてください。
Pathの最後に ¥(\)記号を付けないでください。

【再発行処理】※マニュアル参照
*診察券発行プログラムの監視ファイルのファイル名に条件が有る場合に変更してください。

診察券発行プログラム用ファイル名 :

保存 終了

4. 出力する CSV ファイルの“患者番号の位置”と“患者氏名の位置”を登録してください。

カラム位置は **0 番目から始まることに注意**してください。

Ex.) 00001,ニチイ タロウ,日医 太郎,1970/01/01,男 → 患者番号=**0**、患者氏名=**2**
ニチイ タロウ,日医 太郎,1970/01/01,男,00001 → 患者番号=**4**、患者氏名=**1**

5. 新患の診察券発行時の動作で、印刷確認が不要か必要か、「はい」か「いいえ」で設定してください。

はい 自動発行します . . . ORCA で新患登録すると自動的に診察券が発行されます。

いいえ 確認発行します . . . ORCA で新患登録すると「発行する」、「発行しない」の確認画面が表示されます。「はい」か「いいえ」に答える必要が有ります。
(「VI.操作方法」の「(1) 診察券発行」を参照)

*通常は「はい 自動発行します」で問題ないと思われます。

6. 患者番号の先頭のゼロを削除（ゼロサプレス）が必要か、必要でないか、「はい」か「いいえ」で設定してください。

【注意】

ゼロサプレスする場合、必ず CDM_Extension のこの設定で行ってください。ORCA ブリッジの出力時は先頭のゼロは削除しないようにしてください。※既存の患者番号の比較を「先頭のゼロあり」で行う為。

7. 印刷データ出力フォルダの入力エリアに、診察券発行プログラムが監視するフォルダを入力してください。

【注意】

入力ミスを防ぐため、Explorer や、CARDIssue の設定画面からフォルダ名をコピーしてください。
フォルダ名の最後に ¥(\)記号を付けないでください。

※¥と入力しても\と表示されますが、保存は¥として扱われます。¥は¥と考えてください。

8. 必要に応じて、診察券発行プログラム用ファイル名を入力してください。

通常は変更の必要はありません。

しかし、新規発行は出来るのに再発行処理を行っても再発行されない場合などは、診察券発行プログラムが読み込むファイルのファイル名を**厳密に管理している可能性**があります。

そのような場合は、ORCA Bridge が出力するファイル名などを参考に變更してください。

Ex.)

- (1) ファイル名にキーワードが含まれる。

ORCA Bridge 出力ファイル名：PTINF[患者番号]-[年月日][時間].csv

この場合、ファイル名の頭の「PTINF」がキーワードになっている可能性があります。

患者番号が6桁とした場合、例えば以下のように変更します。

issued_card_data.csv → PTINF000000-20210824000000.csv

- ・患者番号の存在チェックをしている可能性が有るなら「テスト患者」の番号が無難
- ・年月日エリアは年月日をチェックしている可能性があるので実在日を
- ・時間は0時0分0秒

9. 設定が終わったら、[保存]をクリックして終了します。

「○○○○○○○○○○○○○○○○ を保存しました。」というメッセージが順に表示されます。それぞれ [OK] を押してください。全部確認したら終了します。

IV-2. ORCA Bridge 設定作業 (ORCA Bridge がインストールされた PC での作業)

1. インジケータに格納されている ORCA Bridge アイコンを右クリックし「開く」選ぶ。
2. ユーザープログラム登録へ進む。
3. 右上の「新規」ボタンをクリックして登録画面を開く。
4. 登録画面の右上の「インポート」ボタンを押し、C:\¥ORCA_Bridge¥CDM_extension 内の、CDM_extension.xml を読み込む。
5. 登録ボタンを押して保存する。

ORCAブリッジ (編集)

起動画面: 患者登録通知
処理・帳票名: CDM_extension

APIタイプ: 患者情報取得API

API項目リスト

1	患者番号
2	患者氏名
3	患者カナ氏名
4	生年月日
5	性別
6	郵便番号
7	住所 1
8	住所 2
9	自宅電話番号
10	連絡先番号
11	コメント 1
12	コメント 2
13	状態番号 1
14	状態 1
15	状態番号 2
16	状態 2
17	状態番号 3
18	状態 3
19	初回受診日
20	最終受診日
21	保険組合名

出力形式: EXE CSV TXT XML

設定情報ファイル: インポート エクスポート

EXE
実行スクリプト
exeコマンド (パラメータ) を入力してください
例). c:\¥orca¥exe¥UketsukeDisplay.exe \$1 \$2 \$3 \$4 (パラメータは\$+番号で表現します)

CSV
ファイルレイアウトのパターン: 出力先パス、およびファイル名を入力してください
パターン: "\$1","\$2","\$3","\$4","\$5"
CSVパス: C:\¥ORCA_Bridge¥CDM_extension¥wk¥CSV_tmp
例). pt[患者番号]_[DATE]_[TIME].csv (項目を参照する場合、[] (カッコ) で囲みます)
ファイル名: [DATE][TIME]_pt[患者番号].csv

exeコマンドのパラメータ、またはテキストデータの並び

1	患者番号	頭ゼロあり
2	患者カナ氏名	半角カナ
3	患者氏名	
4	生年月日	yyyy/MM/dd
5	性別	1,2

文字コード: ☐ UTF-8 ☒ Shift-JIS ☐ EUC

ファイル: ☒ 上書き ☐ 追記

戻る 登録

診察券発行プログラムに合わせて編集

インポート時に「追記」となる場合がある

【重要】

- ・既に「診察券発行プログラム」用の設定が登録してある（印刷の実績がある）場合は、その設定の“CSV パス”を **C:\¥ORCA_Bridge¥CDM_extension¥wk¥CSV_tmp** と書き換えても良いです。
- ・患者番号を“頭ゼロなし”で設定している場合は、必ず、“頭ゼロあり”に変更してください。
Z E R Oサプレスが必要な場合は、**CDM_extension の機能**で行います。

V. 発行履歴一括作成処理

- ・新規開院であったり、今回初めて診察券発行機を導入する場合などは、本処理は必要ありません。
- ・1ファイル複数行のデータが必要となります。下記の1. ～9. を参考にご準備ください。

1. 日医標準レセプトソフトの「13 照会」などを利用して、全患者の CSV データを作成します。

ここでは、例として「13 照会」で全患者の CSV データを作成する方法を説明します。

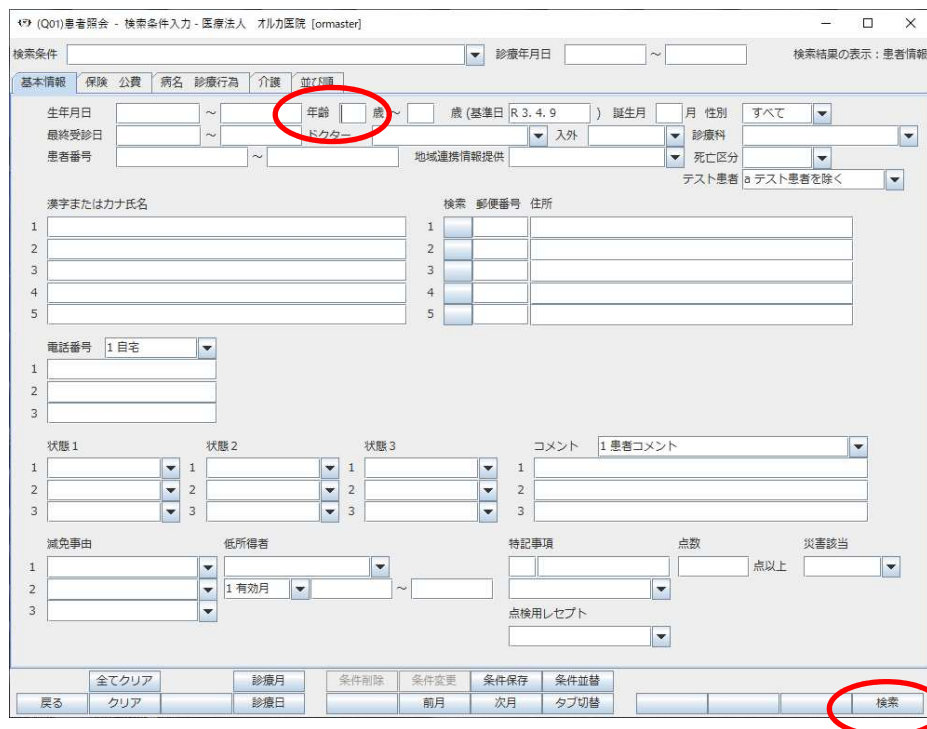
2. 業務メニューの「13 照会」をクリックします。



3. 照会画面が開いたら、検索条件を入れます。

患者全件を取り出すならば、年齢を 0 歳～と入力し、残りを空白とすることで、全件出力が可能です。

入力したら「F12 検索」を、クリックして進みます。



4. 患者が一覧形式で表示されます。

患者が表示されたら右下の
「F11 CSV 出力」をクリック
して進みます。

(Q02)患者一覧 - 検索結果 (患者情報) - 医療法人 オルカ医院 [ormaster]

表: 患者一覧

条件: 基本情報

総件数: 1,002

番号	患者番号	氏名	性別	生年月日	年齢	保険	最終受診日	電話番号	郵便番号	住所
1	00001	テスト 患者	男	S55.5.5	40歳	国保	R 3.3.24	052-731-8499	464-0850	愛知県名古屋市中区千代田
2	00002	北海道 乳幼児 テスト1234...	男	H23.1.1	10歳	協会	R 3.1.22	09076768732	461-0003	愛知県名古屋市中区千代田
3	00003	北海道 ひとり親	女	S58.1.1	38歳	協会	R 2.4.3			
4	00004	北海道 ひとり親2	女	S58.1.1	38歳	協会	R 2.10.1			
5	00005	北海道 ひとり親3	女	S58.1.1	41歳	協会	R 2.7.3			
6	00006	北海道 ひとり親4	女	S58.1.1	38歳	協会	H31.1.1			
7	00007	北海道 ひとり親6	男	S58.1.1	38歳	協会	01-101			
8	00008	北海道 障害	男	S58.1.1	38歳	協会	H31.1.1			
9	00009	北海道 障害2	男	S58.1.1	38歳	協会	H31.1.1			
10	00010	北海道 障害3	男	S13.1.1	83歳	後期高	R 3.3.5			
11	00011	国保 一般67890	男	S58.1.1	38歳	国保	R 3.2.1	123-4567-890123	111-0036	東京都台東区松が丘
12	00012	テスト アイウエオ	男	S33.5.5	62歳	協会	R 2.7.2			
13	00013	後期 9割	男	S16.1.1	80歳	後期高	R 2.11.10			
14	00014	国保 前期8割	男	S23.1.1	73歳	国保	H31.3.5			
15	00015	後期 公費	男	S16.1.1	80歳	後期高	H31.3.1			
16	00016	国保 一般2	男	S58.1.1	38歳	国保	R 2.1.5			
17	00017	国保 6歳未満2	男	H27.1.1	6歳	国保	H31.2.5			
18	00018	後期 9割2	男	S16.1.1	80歳	後期高	H31.4.5			
19	00019	国保 前期8割2	男	S23.1.1	73歳	国保	H31.2.5			
20	00020	後期 公費2	男	S16.1.1	80歳	後期高	R 2.5.1			
21	00021	岩手 老人	男	S20.1.1	76歳	協会	R 1.11.1			
22	00022	岩手 乳幼児	男	H27.1.1	6歳	協会	R 1.11.1			
23	00023	岩手 障害	男	S22.1.1	74歳	協会	R 2.1.1			
24	00024	岩手 ひとり親	男	S55.1.1	41歳	国保	R 1.11.1			
25	00025	岩手 妊産婦	女	S55.1.1	41歳	協会	R 1.11.1			
26	00026	岩手 市町村単独	男	H24.1.1	9歳	協会	R 1.5.7			
27	00027	岩手 障害2	男	S20.1.1	76歳	協会	H31.1.5			
28	00028	岩手 ひとり親2	男	S55.1.1	41歳	国保	H31.1.5			
29	00029	宮城 乳幼児	男	R 1.10.1	1歳	協会	R 1.5.1			
30	00030	宮城 乳幼児2	女	H27.1.1	6歳	協会	R 2.3.27			
31	00031	テスト 患者31	男	S64.1.1	32歳	一般	R 1.10.7			
32	00032	宮城 乳幼児4	女	H27.1.1	6歳	協会	R 1.10.1			
33	00033	山形 障害	男	S58.1.1	38歳	協会	R 1.10.1			
34	00034	山形 障害2	男	S58.1.1	38歳	協会	R 1.10.1			

選択番号: []

戻る クリア 状態

診療行為 病名登録 月次連携 処理結果

患者登録 前頁 次頁 明細書連携 情報検索 CSV出力 印刷

5. 処理が終わると、画面上に次のようなダイアログが表示されます。

(Q100)出力指示画面 - 医療法人 オルカ医院 [ormaster]

3001

CSV出力を開始します

出力ファイル名: /tmp/OUTPUT.csv

件数指定: 1 ~ 1002

ファイル出力先: 1 クライアント保存

文字コード: 2 S-j i s

戻る OK

ファイル出力先 → クライアント保存

文字コード → S-j i s

を選びます。

※UTF8 で取り出し Windows パソコン上で S-Jis
に変換する方法もありますが、分かる方は、
普段やり慣れた方法で行ってください。

設定したら [OK]をクリックして進みます。

6. 「患者一覧出力」のダイアログが表示されます。

(Q97)処理結果 - 医療法人 オルカ医院 [ormaster]

番号	処理名	処理開始	時間	処理終了	時間	頁数・件数	エラーメッセージ
0000001	患者一覧出力	R 3.4.9	17:46:53			0	

F1:戻る F11:状態 処理中です

処理が終わると「処理中です」が「処理は正常に終了しました」に変わります。

同時に右のような確認ダイアログが表示されます。

[保存]をクリックして進みます。

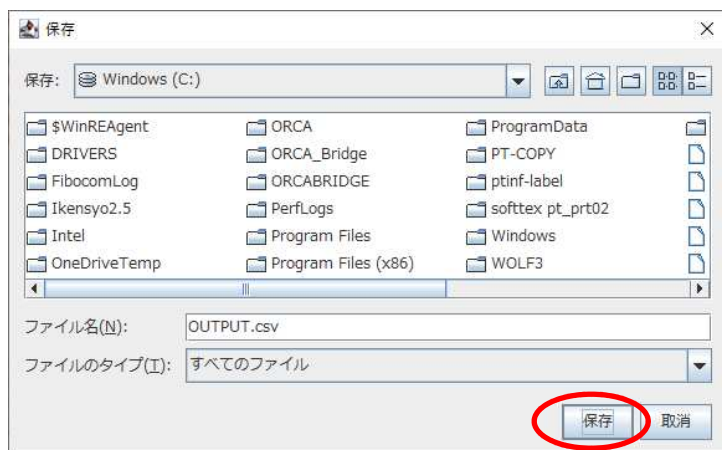
ファイルのダウンロード

このファイルを開くか、または保存しますか？

ファイル名: OUTPUT.csv
サイズ: 101 KB

開く 保存 閉じる

7. 「保存」のダイアログが表示されますので、任意のフォルダに保存してください。



8. 画面に残ったダイアログは、「閉じる」、「戻る」などを使用して、適切に閉じてください。

9. 出力された CSV ファイルを Excel や OpenOffice calc 等の表計算ソフトに読み込み、不要な列の削除や、列の順番の変更など、必要な編集作業を行って下さい。

【CSV ファイルの「必要な編集作業」とは】

・診察券発行プログラムが、データ受け渡しに指定したフォーマットの形にする事です。

ORCA Bridge が出力する CSV の内容と同じになるようにしてください。

日付の形式（西暦・和暦）、性別（1、2 なのか男、女なのか）など、特にご注意ください。

Ex.)

診察券発行機の要求するフォーマット

“患者番号”, “カナ氏名”, “氏名”, “生年月日”, “性別”

OUTPUT.csv の列（項目）

番号, 患者番号, 氏名, 性別, 生年月日, 年齢, 年齢ラベル, 保険, 病棟番号, 病室番号, 最終受診日, 電話番号, 郵便番号, 住所, カナ氏名, 地域連携 I D

編集の考え方

1) 上記の例では、赤字の列（項目）が不要ですので、列を削除して、項目を減らします。

2) 「患者番号, 氏名, 性別, 生年月日, カナ氏名」の表ができるので、列を入れ替えて、

「患者番号, カナ氏名, 氏名, 生年月日, 性別」の表に編集します。

このとき、ヘッダー部の行（最初の 1 行目）は、削除します。

4) 保存のオプション等で、「ダブルクォーテーションで囲む」「区切り文字,」の条件で保存します。

※保存方法にオプション等が無い場合、サクラエディタ等の高機能 TEXT エディタを利用し、

「,」を「,”」に置き換える等の処理をして下さい。

Ex.) ①「,」を「,”」に置換

・・・行の途中の , の前後に「”」が付く

②「¥n」（改行）を「”¥n”」に置換

・・・改行の前と後ろ＝「行末」と「次行の先頭」に「”」が付く

③先頭行の頭に「”」を手入力、最終行の「”」を削除

※ 置換の方法、改行の記述方法、はご使用のソフトによって異なりますので、
ご自身でお調べください。

【その他注意事項】

- ・ Excel 等の表計算ソフトに読み込む場合は、必ず**全ての列を“文字列”として読み込んでください**。

文字列で読み込まないと、**患者番号などの頭のゼロが削除**されてしまいます。

CSV を“文字列”として読み込む方法は、ソフト、バージョンごとに異なる場合があります。

ご自身でお調べください。

- ・ CSV の行数が多すぎて、表計算ソフトに読み込めない場合は、日医標準レセプトソフトの「13 照会」の検索条件で、患者番号を範囲指定する、男女で分ける、等の方法を使って、読み込めるサイズにしてください。

この「CDM_extension 発行履歴一括作成処理」を複数回実行する事で、全件の発行履歴を作成することが可能です。

- 1 0. CSV ファイルが作成出来たら、C:\ORCA_Bridge\CDM_extension\bulk_registration\に保存します。

ファイル名は自由ですが、拡張子は“csv”としてください。

保存したら、C:\ORCA_Bridge\CDM_extension\に移動します。

- 1 1. ショートカット「CDM_e 発行履歴一括作成処理」をダブルクリックで起動します。

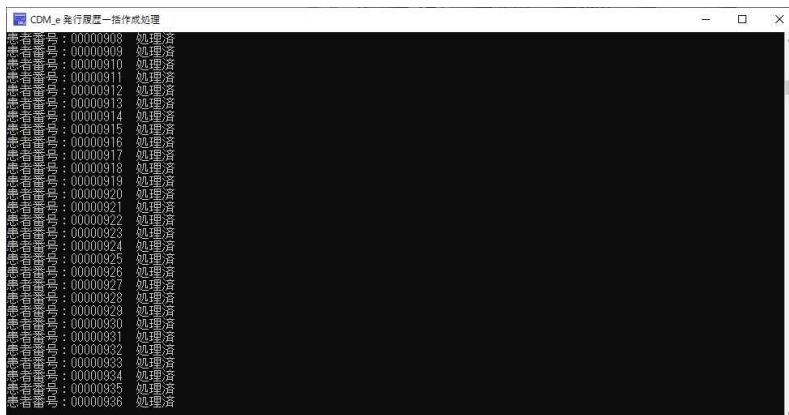
黒いコマンドプロンプト画面と、
CSV ファイルの準備確認のダイアログが表示されます。



準備が整っていれば、[OK]をクリックします。

CSV ファイルが認識されると、処理が開始され、コマンドプロンプト画面に処理済みの患者番号が表示されます。

処理が終わると画面が閉じます。



【注意】 処理時間について

処理時間の目安は、10,000 件≒5 分となります。

100,000 件の場合は、100,000 件/10,000 件×5 分≒50 分と試算してください。

時間に余裕を持って作業してください。

VI.操作方法

(1) 診察券発行

【！】初期設定で「自動発行」が選んである場合、本操作は行いません。

- 1) CDM_extension がインストールされた PC が起動すると、画面下のタスクバーにコマンドプロンプト画面が常駐しています。
表示されていれば準備完了です。



【注意】

もし、表示されていなければデスクトップの



アイコン"CDM_e 診察券発行機 連携"をクリックして起動してください。

- 2) ORCA で患者登録を行うと、画面にダイアログボックスが表示されます。



※ORCA 等の画面に隠れて表示されない場合があります。

その場合は、タスクバーに正面が赤い箱のようなアイコンが表示されます。



このアイコンをクリックして、ダイアログボックスを最前面にしてください。

- 3) 画面の指示に従い、発行する場合は [はい(Y)] を、しない場合は [いいえ(N)] をクリックします。

【注意】

診察券は一度発行すると、次回以降の患者登録（保険証確認などでの登録）では、画面での確認を行わず、自動でキャンセル（[いいえ(N)] をクリック）されます。

氏名変更、診察券破損等で再発行が必要な場合は、次ページの（2）診察券再発行を参照してください。

(2) 診察券再発行

1) デスクトップの



アイコン"CDM_e 再発行処理"をクリックして起動してください。

2) 以下のような画面が開きますので、患者番号を入力し、[次へ] をクリックしてください。

患者番号の頭の0は、無くても構いません。

患者番号のチェックでエラーが出たときは指示に従って再入力をお願いします。

3) 患者番号が正しければ以下の画面が表示されます。

①診察券紛失、破損などで、名前等に変更が無く再発行する場合

[再発行] をクリックしてください。

②氏名変更などで再発行する場合

- ・[発行履歴削除] をクリックして発行履歴を削除します。
- ・ORCA の患者登録で該当患者を呼び出し、F12 [登録] で、診察券を発行します。

③再発行の必要が無くなった、または、履歴の患者が異なる場合

[終了] をクリックしてください。番号間違い等、必要なら上記 1) からやり直してください。

修正履歴

2021/04/01 第1版

2021/08/24 第2版

- ・「Ⅲ. インストール作業」の「【注意】」の表現を変更
- ・「Ⅳ.初期設定」に「新患の診察券発行の動作」と「再発行時の診察券発行プログラム用ファイル名」の説明を加えました。
- ・「Ⅴ. 発行履歴一括作成処理」の「9.」に注意書きを追記しました。
- ・「Ⅵ.操作方法」の「(1) 診察券発行」に注意書きを追記しました。
- ・再印刷のクライアント・サーバ運用の設定等を追記しました。
- ・「Ⅳ.初期設定」6. 患者番号のゼロサプレスで【注意】を追記しました。

2021/11/01 第3版

2023/12/08 第4版

株式会社ソフトテックス